

準備委員会企画シンポジウム

子どもの心身の成長ならびに教育の基盤を支える安全・安心について考える

【企画趣旨】

2000 年児童虐待防止法が施行後も、児童虐待の相談対応件数は増加の一途を辿っている。また、昨今の子どもにまつわる社会現象を概観した時、児童虐待のみならず、子ども同士のいじめ・暴力、スクールハラスメントなど様々な場面で、子どもの安全・安心が脅かされる現状が散見されている。そのような環境の中にあって、子どもの心身の成長ならびに教育は、停滞もしくは破綻する危険性をはらんでいる。何故、そのような現状が引き起こされ、どのようにしてその現状を打破していったら良いのか、教育、福祉、心理の様々な側面から共に考え深めていくことを目的として、今回のシンポジウムを企画した。

具体的には、「何故、子どもの心身の成長ならびに教育の基盤に安全・安心が必要か」の問題提起を基に、教育分野では「学校現場における被虐待体験を有する子どもの教育的支援」について、福祉分野では、児童相談所の立場から「家庭における子どもの安全・安心への支援」、児童養護施設の立場から「児童養護施設で暮らす子どもが感じる安全感・安心感を測定する尺度を用いた生活環境支援」について、心理分野では「心理ケアの観点から見た児童福祉施設で暮らす子どもたち」について、それぞれの分野で活躍している話題提供者が、子どもの安全・安心の現状ならびに支援について、専門職種の垣根を超えて討論を行う。子どもの成長・教育の基盤である安全・安心について考えることによって、子どものより良い支援につながることを切に願っている。